

<ENOG5 小ネタ> vSphere Hypervisorのイメージバックアップ

2010年10月22日

株式会社グローバルネットコア
鶴阜 裕

<yutaka.tsuruoka@global-netcore.jp>

自己紹介

- ✦ 難しい苗字ですが「つるおか」と読みます
- ✦ サーバ構築・運用業務を主に従事して9年
- ✦ 元はPG・SEやりました

- ✦ 今後ともよろしく申し上げます

便利なVMware vSphere Hypervisor

- ✦ ESXiと呼んだほうが一般的でしょうか
 - ✦ ちょっとした検証とか
 - ✦ 社内サーバとか
 - ✦ インストールもらくちんだし
 - ✦ なんてったって無償
-
- ✦ 使っている方も多いと思います

便利だからか・・・

- ✦ いつのまにかゲストOS数が凄いことに
- ✦ いつのまにか重要なサーバが入っていたり
- ✦ RAIDになってるから安心してるとものすごく困ったこと
- ✦ 個々のゲストOSでデータのバックアップは取得できても
ホスト側のイメージのバックアップはちと面倒

なんとかイメージバックアップしたい



- ✦ お金を出せば色々出来るけどそういう話は今回はフォーカス外
- ✦ せっかく無償のハイパーバイザーだからイメージバックアップも出来れば無償で
- ✦ データ自体はゲストOS側でバックアップするのでイメージバックアップは頻繁に実施する必要はなさそう
- ✦ イメージバックアップ時にゲストOSはシャットダウンしたくない

- ✦ SSH有効化
 - デフォルト無効
 - バージョンによって有効化方法が違います
 - バージョン4.1はvSphere Clientから簡単に有効化可能
 - 以前のバージョンはコンソールでunsupportedモード(?)に入ってinetd.confを編集
 - いずれもサポート対象外とされます

- ✦ シェルアクセスでゲストマシンのシャットダウンや再起動など、様々な操作が行えるvim-cmdが利用可能となります

外部ストレージにイメージバックアップ



- ✦ NFSやiSCSIで別ストレージ装置をマウント
 - iSCSIの方が高速です
 - バックアップなので信頼性はそこまで気にしなくてOK
 - TeraStationとか、なんでも

- ✦ vim-cmdを駆使して別ストレージ装置に構成ファイルやイメージファイルをコピー

- ✦ 筐体自体が違うから安心

vim-cmdでバックアップ

- ✦ VMリストを表示させ対象ゲストOSのvmidを取得
 - ✦ vim-cmd vmsvc/getallvms
 - ✦ 以降の操作はvmid単位で実施

- ✦ スナップショットを取得
 - ✦ vim-cmd vmsvc/snapshot.create vmid [snapshotName]
 - ✦ イメージファイルのロックを解除

- ✦ 構成ファイル等のコピー
 - ✦ vmx、vmxf、vmsd

- ✦ イメージファイルのコピー
 - ✦ vmkfstools -i
 - ✦ cpより高速にコピー可能

- ✦ スナップショットを削除
 - ✦ vim-cmd vmsvc/snapshot.removeall

- ✦ スクリプトを組んで一連の処理を自動化
- ✦ cronを使って定期間隔に自動実行
- ✦ 工夫次第で色々可能(履歴管理とか)
- ✦ ググるとサンプルスクリプトなど多数出てきます

リストア方法

- ✦ バックアップしたファイル群をホストマシンの適当なフォルダにコピー
 - ✦ データストア ブラウザやvmkfstoolsで実施
- ✦ vmxファイルを右クリックして「インベントリの追加」
 - ✦ データストア ブラウザで実施
- ✦ ゲストOS構成含めてリストア可能

お試しあれ